

能登半島地震
被災地支援
チャリティー
講演会



阪神・淡路大震災から、もうすぐ30年。
伝えたい
★
百年先へ

1995年1月17日 午前5時46分、阪神・淡路大震災発生。あれから、もうすぐ30年になります。今年の元旦、能登半島地震が発生し、大惨事がおきました。また、南海トラフ地震がいつ起こっても不思議ではありません。この節目にこそ、私たち一般市民が過去の出来事を振り返り「その経験を次に生かすこと」をいっしょに考えてみませんか。

2024 **12/8** (日) 午後2時～4時15分 開場 ■ 午後1時30分

【会場】西宮神社会館 西宮市社家町1-17 TEL0798-23-3311

【参加費】一般 1,500円・高校生以下 無料 【定員】270名(要申込・自由席)



未来を担う子どもたちには、震災で悲しい思いをされている方々に
幸せを運べるような存在になってほしい。
阪神・淡路大震災から学んだ教訓を風化させないために。

講演 **白井 真**

神戸市歌「しあわせ運べるように」作詞・作曲者

阪神・淡路大震災における被災体験者であると共に、その被災体験の中から誕生し、
多くの人に口ずさまれた歌「しあわせ運べるように」の作詞、作曲者である。
2021年3月、神戸市立小学校の音楽専科教諭を定年退職。
現在、神戸親和大学教育学部 児童教育学科 准教授。

総合司会 **石田 枝理** (高校2年生)

紙芝居

震災をテーマにした紙芝居



〈演じ手〉竹村 美波 (小学6年生)

体験談

震災を通して
私が伝えたいこと

稲葉 典子

能登半島地震災害ボランティア看護師

松島 俊哉

はるかひまわり絆プロジェクト代表

展示

災害関連
介護グッズの
ご紹介



会の終了後、ご希望の方に「はるかひまわりの種」を配付します。

小学6年生だったはるかちゃんは、阪神大震災で亡くなりました。その年の夏、発見された場所にたくさんの大きなひまわりが咲き、近所の人たちが、はるかちゃんの哀悼と震災の生き証人としてひまわりを育て、語り継ぐことにしました。

【主催】NPO法人アットホームホスピス <https://athomehospice.net>

【協力】訪問看護ステーションネットワーク西宮・生活協同組合コープこうべ第2地区本部・

一般社団法人西宮市薬剤師会・一般社団法人そらくも社・アビリティーズ・ケアネット(株)阪神営業所

【協賛】有限会社 白澤薬局・株式会社スウェーデンハウス・尼崎信用金庫上ヶ原支店・

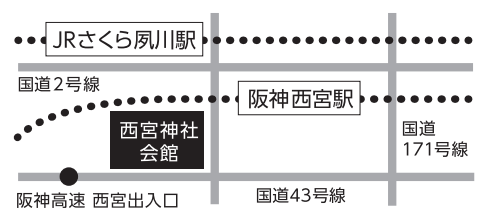
フロンテ西宮 西宮都市管理株式会社・住友生命保険相互会社 神戸支社 東神戸支部

【後援】兵庫県・西宮市・西宮市教育委員会・ サンテレビ

アクセス

電車 ・阪神本線「西宮駅」えびす口より 徒歩5分
・JR神戸線「さくら夙川駅」より 徒歩8分

お車 西宮神社会館の駐車場は、使用できません。
西宮神社の駐車場(60台)、
または 近隣の駐車場をご利用下さい。



チケット

受付時にお渡しするプログラムが、チケットの替わりとなります。

■3歳以下のお子様は、保護者のひざの上をお願いいたします。■お申込みいただいた時点で、申込み完了とさせていただきます。

■定員に満たない場合は、当日の飛び入り参加も可能です。ただし、その場合の着席は申込者を優先させていただきます。

■お申込みの際の個人情報は、本講演会の運営を目的としています。それ以外の使用や第三者へ提供することはありません。

〈右上イラストレーション〉
甲子園二葉幼稚園100周年記念
絵本「ちいさな未来
Link to the future
つ・な・ぐ」
～わたしにできること～より
Illustration©Keiko Yoshida